

# 2015年度第1回 一般社団法人日本箱庭療法学会研修会のお知らせ

主催：一般社団法人日本箱庭療法学会

日時： 2015年7月19日（日）12：00～17：30

会場： 大正大学（東京都豊島区西巣鴨3-20-1）

## ご挨拶

日頃、さまざまな心理臨床の現場に携わっておられる皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

2015年度第1回の全国研修会は、大正大学関係者の皆さまのお力添えで、大正大学で開催させて頂けることになりました。全体講演では、山王教育研究所の弘中正美先生に、『遊びの治療力』と前概念的体験』という演題で、お話して頂きます。「遊ぶこと」がどうして治療になるのか、治癒をもたらすのかについて、言葉が重要視されるなかで、言葉になる前の体験である「前概念的体験」に目を向けながら、分かりやすくお話いただけることと思います。

今回も、6つの分科会と、震災対策用分科会を1つ設けております。分科会の中には事例を募集しているものもあります。弘中先生にも、「箱庭と遊び」という分科会を担当して頂き、事例を募集しております。是非この機会に皆さまの事例を提出して頂き、皆さまとより深く事例について学ぶことができたらと願っております。震災対策用分科会は、『原発・風評・風化』に直面しながら5年目を迎える『福島』の課題』というタイトルで、現場で活動しておられる臨床家の報告書をもとに、心理的支援の課題について検討します。「終ることのない福島の問題」を、諦めることなく考え続けて行きたいものです。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2015年5月吉日

一般社団法人日本箱庭療法学会 研修委員長 川戸 圓

## <開催要領>

1. 定 員：200名
2. 参加資格：以下の条件のいずれかを満たす方とします。
  - ①一般社団法人日本箱庭療法学会会員
  - ②箱庭療法を導入・または導入を検討中の児童相談所・児童養護施設等の心理職に従事されている方
  - ③箱庭療法を導入・または導入を検討中の学校等教育機関の保健・養護領域に従事されている方
  - ④心理臨床を専攻する大学院生
3. 参加費：学会員：4,000円 非会員：7,000円 大学院生（非会員）：5,000円

4. **研修ポイント**：本研修会への参加は、臨床心理士教育・研修規定別項第2条(3)により、一般参加者は2ポイント、事例呈示者は4ポイント取得となります。

## 5. 研修内容

### (1) 全体会：12：00～14：00

テーマ：「遊びの治療力」と前概念的体験

講師：弘中 正美氏（山王教育研究所）

概要：

遊戯療法は遊びを媒体とする心理療法であるが、なぜ遊びを用いることで治癒がもたらされるのかについて、明確な議論がなされているとは言えない。遊びそのものが「治療力」を持っているという考え方は、多くのセラピストにとって自明のことと思われるが、それは第三者には少々魔術的な説明となる。今回の講演では、上記の問題について、言葉になる前の体験としての前概念的体験の視点から、子どもとセラピスト間で繰り広げられるコミュニケーションの治療的意義を明らかにしたい。

### (2) 分科会：14：30～17：30

以下の7グループに分かれ、分科会を行います。

**事例呈示を募集している分科会は、概要の最後に<事例募集>の表記のある分科会です。事例呈示の希望者は、参加申込書裏面に事例概要を記入のうえ参加申込をしてください。**

#### ● 第1分科会 足立 正道（足立分析プラクシス）

「事例の引き継ぎを巡って」

事例の引き継ぎにおいては、セラピストは面接の一旦の終結とその後の別担当者による再開についてどのようにクライアントに伝えていくのが良いのか慎重に考えるのではないだろうか。もちろんこのことも重要ではあるが、伝えた後にクライアントから発信される様々な次元のメッセージに耳を澄ますことも同じかそれ以上に重要であろう。場合によっては、それまでのセラピーの器を支えとすることのごとく流れが急展開することも珍しくなく、セラピストへのメッセージ以上の内容が集約的に含まれることもある。当分科会では実際の遊戯療法の事例の中でどのようなことが起こっているのか出席者の皆さんと検討してゆきたい。（事例提供者：野村龍太氏、野里有希氏）

#### ● 第2分科会 猪股 剛（帝塚山学院大学/猪股分析プラクシス）

「物作りと物語」

箱庭療法は、野性的な物作りである。箱庭の砂が身体を刺激し、そのアイテムたちがファンタジックかつリアルに、物やイメージの世界に参入することを助けてくれる。規定的な言語の世界から物/イメージの世界に入り込むことによって、そこには豊かに動き続ける野性的な物語が生まれ、世界がブリコラージュ的に広がっていく。箱庭世界をあとから振り返るとばらばらで物語が見えてこないことも多いが、実は単にばらばらなのではなく、多層的な広がりを持って物/イメージが展開し、世界の基盤が作られ、物語は多様に広がっている。この分科会では、そのような箱庭療法の物作りと物語の関係を見つめながら、箱庭世界を遊歩してみたいと思う。（ご自身の箱庭事例をこのような視点から振り返ってみたいと思われる方は事例検討を申し出てください）<事例募集>

#### ● 第3分科会 河合 俊雄（京都大学こころの未来研究センター）

「症状と夢における自己関係」

心理療法で遭遇する様々な症状は、主体と外界や内界との接点で生まれ、時には接点が存在しないことが問題になることもある。その意味で、夢における「自己関係」、つまり夢の中の「私」と「他者」、あるいは「私」でないものとの関係という視点は大切である。夢における自己関係について概説した後、うつ、過食など多様な症状を呈し、統合失調症、発達障害など様々な診断を受けた女性の事例を、夢における自己関係にも焦点を当てて検討したい。（事例提供者：藤巻り氏）

#### ● 第4分科会 田中 康裕（京都大学）

「発達障害の広がりとその心理療法」

今日、以前には発達障害とは見なされなかったクライアントもそれとして見立てられ心理療法を進められる

ことが多くなったが、そのような事例には、発達障害と見立てるのが真にふさわしい事例もあれば、そうではない事例も相当数含まれている。しかし他方、このような変化は、こころの問題の「表現型」の時代的変遷（神経症→人格障害→発達障害）とも考えられるゆえ、発達障害を狭い概念として捉えるのではなく、むしろそのパリエーションを考えてゆく方が、臨床的には有用であると思われる。この分科会では、主として提供された複数の事例における夢・描画・箱庭等から、掲題のテーマについて考えたい。（事例提供者：古川真由美氏）

#### ● 第5分科会 弘中 正美（山王教育研究所）

「箱庭と遊び」

箱庭はそれ自身が一種の遊び（造形遊び）と考えられますが、特に子どもに箱庭療法を行うときには、子どもが箱庭の中で文字通り遊んだり、遊戯療法の一場面として箱庭づくりが行われたりします。ときには破壊的な箱庭表現になったり、また遊びで展開していたことが箱庭の中でまとまりを持った作品として結実したりすることもあります。要は、箱庭と遊びは切っても切れない関係にあるということです。この分科会では、参加者の中から上記のテーマに関連した事例をお持ちの方に事例提供をしていただき、「箱庭と遊び」の関係を検討してみます。（事例提供ご希望の方は早めに学会事務局にその旨お申し込みください） <事例募集>

#### ● 第6分科会 横山 剛（文京学院大学）

「砂に「埋める」「埋まる」表現の目的的意味・意義」

箱庭療法では、クライアントが何かを埋めたり、何かが埋まるという表現が見られる時があります。その時、心のプロセスではどのような目的が動いているのでしょうか。その意味や意義はどのようなものでしょうか。砂、大地の意味や機能、心的宇宙論からの考察、「隠す」ことの意味、「浄化」、隠して見つけるという「宝探し」的行為など。また、死んだものが埋まって新しく生き返る、埋められて何かが育って出てくることもあります。地下の世界と地上の世界との関係も考えるでしょう。このような現象の様相を皆様とご一緒に改めて考えてみたいと思います。そして、道下氏にミニチュアを逆さに埋める表現がされた事例を提供していただきます。（事例提供者：道下裕香氏）

#### ● 震災対策用分科会1（S1） 岸 良範（茨城大学大学院）、渡部純夫（東北福祉大学）

「「原発・風評・風化」に直面しながら5年目を迎える「福島」の課題」

福島は「原発・風評・風化」に直面しながら、5年目を迎えています。そのなかで福島第1原発では「定番」記事のように発電機の故障が原因の排水路からの放射性物質を含む雨水の流出が報道されています。その繰り返しには「計画性」さえ感じられます。また「指定廃棄物」の最終処分場の問題に於いては、その候補地が発表されるや否や「放射能廃棄物は福島に集約を」と汚染物質は福島から外に出すなどの声が報道されています。被災の最早期においては、「絆」というイデオロギーのもとで、多くの人々も「英雄的」に支援活動を試みていましたが、具体的な問題になると及び腰になる現状があります。このような周辺の変化が福島の人々の心理にどのような影響を及ぼしうるのか、また今後の支援が何を指すのかについて4年のふり返りと整理を行ない、これからの心理学的支援の課題と取り組みについて考えてみたいと思います。当日は現地で活動している臨床家の報告をもとにしながら、現状と今後の課題について検討したいと思います。

各分科会会場につきましては、当日受付にて配布のプログラムにてお知らせいたします。

### 6. 参加お申し込みについて

- ・ 同封の参加申込書所定欄に必要事項をご記入の上、連絡用ハガキと併せて返信用封筒にてお申し込み下さい。連絡用ハガキには必ず住所・氏名をご記入の上、お手数ですが52円切手をお貼り下さい。
- ・ お申し込み受付は、原則として先着順とさせていただきます。
- ・ 希望者多数の場合にはご参加いただけない場合もありますので、予めご了承ください。
- ・ 参加申込締切：2015年6月16日（火）必着

### 7. 参加の可否について

- ・ 申込締切後、連絡ハガキにて参加の可否をご通知致します。

### 8. 参加費振込みについて

- ・ 参加確定の連絡ハガキを受領後に、以下の口座に参加費を送金して下さい。  
口座番号：00900-8-233788 加入者名：一般社団法人日本箱庭療法学会研修委員会

※振替用紙の通信欄には受付番号並びに「2015年度第1回全国研修会参加費」とご記入ください。

- ・参加費振込締切:2015年6月25日(木)(納入された参加費のご返金はできませんので予めご了承下さい。)
- ・振込締切までに入金を確認した方には分科会番号・名前等の記載された名札カード・名札ケースをお送りいたします。**当日は名札・名札ケースをご持参いただき、身に着けてご参加下さい。**
  - \*振込締切以降に参加費を入金された方につきましては、当日、受付にて名札をお渡しいたします。
  - \*名札ケースは研修会終了後、返却させていただきますようお願い申し上げます。

## 9. 研修会に関するお問合せ先

一般社団法人日本箱庭療法学会事務局気付「一般社団法人日本箱庭療法学会研修会」係

住所：〒541-0047 大阪市中央区淡路町4-3-6 新元社内

FAX：06-6942-2550 e-mail：office@sandplay.jp

\*お手数ですが FAX または電子メールにてお問合せください。

## 10. 会場案内



### ■電車をご利用の場合

- ・都営地下鉄三田線 … 西巣鴨駅下車 徒歩2分
- ・JR埼京線 … 板橋駅東口下車 徒歩10分
- ・都電荒川線 … 新庚申塚駅又は庚申塚駅下車 徒歩7分

### ■東京駅から

- ・東京(山手線内)⇒巣鴨(都営三田線乗換)⇒西巣鴨

### ■バスをご利用の場合

- ・池袋駅東口から都バス … 堀割バス停下車 徒歩2分
- 6番乗り場 西新井駅前行、北車庫前行、新田一丁目行
- 7番乗り場 浅草雷門行(王子駅前経由)
- 11番乗り場 浅草寿町行(巣鴨駅前経由)
- 12番乗り場 とげぬき地藏(巣鴨車庫前)行

### ■羽田空港から(約60分)

- ・東京モノレール … 羽田空港-浜松町(山手線乗換)-巣鴨(都営三田線乗換)-西巣鴨
- ・京浜急行(都営浅草線直通「エアポート快特」) … 羽田空港-三田(都営三田線乗換)-西巣鴨